

# 山紫水明



## 第146号

## 事務局・会計局各次長紹介

当会には、会務運営を円滑に進めるために事務局並びに会計局が設置されています。それぞれの次長は局長からの指名により決まり、局長の補佐をする役割を担っています。



事務局次長

私市 靖(石清水八幡宮)

事務局次長として今期の京都神青の活動に携われることが難しく感じております。身に余る役ではございますが次長として事務局長のサポートを始め、会全体の力に少しでもなれる様、邁進していきたいと思っております。



会計局次長

高井 真幸(平安神宮)

皆さんと楽しく円滑に活動が行えるよう努めます！

## 編集後記

この度は進藤新会長の体制のもと、『山紫水明』第一四六号を発行させて頂いたたく運びとなりました。

表紙には「祓」をテーマとし、半年に一度行われる神事にてご参列いただいた皆様の罪穢れを祓い、無病息災を祈願した「形代(かたしろ)」が舞い、大海原へと流れゆく様子を写したものを採用させていただきました。一年を振り返り、来る年も神事をはじめ万の生業が滞り無く進められますように願っております。

この度の発行にあたり、ご多忙の中、調整して下さいました関係各位、また御協賛業者様、御助成をいただきました各社様、原稿の執筆に御協力いただきました会員の皆様にはこの場をお借りし深く感謝申し上げます。次号の編集につきましても引き続き御高配賜りますれば幸いです。

(広報委員会)



### 新 京都府神道青年会

当会の活動はURLまたはQRを読み取ってウェブサイト、SNSにアクセスしてご確認ください。

<https://kyoto-yashiro.jp>



### 『山紫水明』第146号

題字 頼新先生  
編集 広報委員会  
発行所 京都府神道青年会  
発行日 令和5年11月30日  
印刷 株式会社ユニティー





# 第一四六号 目次

表紙	1
新会長挨拶	3
新執行部・監事挨拶	4
新役員挨拶	5
令和五年度定例総会並びに懇親会報告	6
令和四年度活動報告	8
各委員会報告	10
近畿・中央報告	15
令和五年度新入会員紹介	22
各次長紹介・編集後記	24

## 就任のご挨拶

会長 進藤 大長



先ずもって、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。  
 神宮におかれましては、諸祭恙無く執り行われておりますこと誠に慶賀に存じ上げます。  
 この度、京都府神道青年会会長を務めさせていただきます進藤大長と申します。これから皆さんと共に、神青会の新たな一歩を歩むことを心より楽しみにしています。

京都府神道青年会は、神社の伝統と文化を大切にしながら、若い世代が活発な活動を行う会です。私たちは神社への愛と敬意を共有し、地域社会への貢献を目指しています。そして、青年会を皆さんにとって新たなチャンスやきっかけになるよう願っています。

また、共通の興味や関心を持つ仲間たちと親睦を深める素晴らしい場です。様々な行事や活動を通じて、皆様と一緒に成長していけることを楽しみにしています。どんな形でも参加しやすい活動を提供し、皆様の参加をお待ちしています。

一緒に楽しみながら、絆を深め、神社の素晴らしさを広めていきましょう。皆様と共に未来を築いていくことに期待と希望を抱いています。どうぞよろしく願いたします。





事業委員長  
福本 翔一郎  
(八坂神社)

この度事業委員長を仰せつかり身の引き締まる思いです。先輩方から受け継いだ伝統を守りつつ、新しいことも取り入れながらより良い活動ができるよう誠心誠意努めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



組織委員長  
進藤 恵太郎  
(松尾大社)

進藤会長とは同苗の縁を感じております。会員同士の情報を正確にお伝え出来るよう二年間精一杯最善を尽くしますので皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



教化委員長  
廣 達哉  
(伏見稲荷大社)

前期は事業委員長として会に携わせて頂いておりましたが、この度、有難くもお声がけを頂きまして今度は教化委員長として、お役目を務めることとなりました。時代の流れに沿いながらも、古き良き神青活動を目指して励んでいきたいと存じますので二年間何卒宜しくお願い申し上げます。

## 新役員挨拶



親睦委員長  
山名 智之  
(賀茂別雷神社)

初めての役員ですが皆様にご指導頂きながら二年間頑張ってお参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。気軽に話しかけてください。



渉外委員長  
森川 知樹  
(吉田神社)

何もわからず手探り状態です。ご迷惑をお掛け致します。ご指導くださいませ。



広報委員長  
櫻井 孝嘉  
(貴船神社)

分からないことばかりですが、進藤新会長のもと当会の活動を少しでも多くの皆様に知っていただけるよう努めて参る所存です。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



副会長  
東條 貴史  
(八坂神社)

この度副会長の大役を仰せつかりました。進藤会長を支え、京都府神道青年会の更なる発展に微力ながら誠心誠意努めたく存じます。



副会長  
林 秀明  
(石清水八幡宮)

この度副会長という大役を仰せつかり身の引き締まる思いであります。明るく楽しく青年神職らしい活動が出来る様に努めさせていただきます。



副会長  
生駒 紀之  
(大將軍八神社)

ご縁を頂きまして再登板。次世代に良きものが引き継げるよう会長を初め他役員と共に活動事業に邁進してまいります。

## 新執行部・監事挨拶



監事  
北川 真喜子  
(御嶽教末廣教会)

引き続き二年間も皆さんと共に楽しみながら、一緒に歩んで参りたいと思います。



監事  
有持 圭祐  
(長岡天満宮)

「初心、忘るべからず」これまでの神青活動で得た経験や考え方を皆様に伝えてまいりたい、また一会員として事業を楽しみながら参加していきたいと思っております。



会計局長  
馬淵 義之  
(伏見稲荷大社)

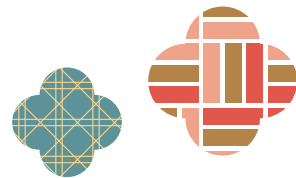
この度、会計局長の任を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。微力ながら精一杯努めさせていただきます。何卒ご指導ご鞭撻の程、お願いいたします。



事務局長  
室川 豊史  
(平安神宮)

京都府神道青年会の為に微力ではございますが持てる力を尽くしていきたいと決意しております。





# 令和五年度定例総会・懇親会報告

令和五年七月六日(木)午後六時よりリーガロイヤルホテル京都に於いて、令和五年度定例総会が会員七十七名参加のもと開催された。

有島副会長より開会の辞が述べられ、神宮遙拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和、物故者に対して黙祷を捧げ、北川会長挨拶の後、伏見稲荷大社守分会員が議長に選出され議事に入った。

第一号議案から第四号議案まで令和四年度活動報告・決算報告の件、創立七十周年記念事業報告の件に関して審議の後、全て可決承認された。

第五号議案役員改選に関して、今年二月八日に開催された令和四年度臨時総会に於いて承認された大石神社の進藤大長新会長、有持・北川両

新監事の紹介がなされ、続いて次期役員候補者が紹介され審議。二号とも可決承認された。

第六号議案は進藤新会長より令和五年度活動方針(案)が、第七号議案令和五年度予算(案)は馬淵新会計局長より説明があり、審議の後、二号とも可決承認され、会歌合唱、生寫新副会長の挨拶を以て定例総会は滞りなく閉会となった。

引き続き山名新親睦委員長の司会進行のもと行われた懇親会では、開会に先立ちヤチマタ基金贈呈式が行われ、

その後、京都府氏子青年連合会会長 橋本浩和様の乾杯発声にて懇親会が始まった。  
昨年までは新型コロナウイルス感染症防止対策のため他テーブルへのお酒の注ぎ回り等は制限されていたが、今回は特に制限もなく出席者各々が交流を深めていた。そんな中、本年は新入会員十七名が緊張した面持ちで登壇し自己紹介を行った。続いてOB先輩会員の紹介がなされると恒例の余興が開催され、多数の参加者に記念品が贈呈された。六人部は充OB先輩による万歳三唱、林新副会長の挨拶にて盛況のうちに閉会となった。  
(伏見稲荷大社 上島 亮平)



進藤会長より京都府神社庁田中恆清庁長へ目録が手渡され、事業の成果が報告された。  
次に東條新副会長より開会の辞が述べられ、進藤会長の挨拶に続き役員紹介、来賓の紹介が行われた。  
来賓を代表され、京都府神社庁田中恆清庁長より、冒頭で宗教法改正の気運が高まりつつあることに触れられ、今後の若い神道青年会の活躍に期待する旨の御祝辞を賜った。



年月日	内容	人数	場所
二月 三日	渉外委員会「ヤチマタ募金活動」開催	八名	吉田神社
七日	歴代会長会開催	八名	リーガロイヤルホテル京都
八日	第八回役員会開催	一六名	ホテルグランヴィア京都
八日	特別講演会開催「アルヒノト野口健氏」	四九名	ホテルグランヴィア京都
八日	令和四年度臨時総会開催	五一名	ホテルグランヴィア京都
八日	令和五年新年会開催	五一名	ホテルグランヴィア京都
二七日	神道青年近畿地区連絡協議会第三回連絡会出席	七名	ホテル日航大阪
二八日	神道青年近畿地区連絡協議会地区研修会出席	五名	万博記念公園
三月 五日	第五回執行部会開催	八名	大將軍八神社
八日	令和四年度神道青年全国協議会中央研修会参加	二名	徳嶋グランヴィリオホテル
二二日	第七回役員会開催	一三名	平安神宮
二三日	組織委員会・親睦委員会主催	八名	がんど三条本店
一六日	近畿地区親睦「ゴルフ」へ出席	四名	東急ランドオークゴルフクラブ
二四日	神道青年近畿地区連絡協議会	三名	みのお山荘 風の社
五月 二七日	神道青年全国協議会定例総会出席	三名	神社本庁
二二日	第六回執行部会開催	七名	平安神宮
二二日	第八回役員会開催	一〇名	平安神宮
二三日	親睦委員会主催「ボウリング大会」	六一名	ラウンドワン
二五日	渉外委員会主催「チャリティバザー」開催 (二八日、二九日、三〇日)	一五名	北野天満宮
六月 二二日	組織委員会 機関紙「洛声」第三五号発行	一一名	ホテル阪急インターナショナル
二二日	組織委員会 機関紙「洛声」第三六号発行	八名	ラウンドワンスタジアム堺駅前店
五日	神道青年近畿地区連絡協議会 第一八回定例総会出席	四名	賀茂別雷神社
六日	令和五年度「野球大会」	四名	稲植神社
七日	※雨天中止「ボウリング大会」出席	四名	賀茂別雷神社
二二日	令和五年度活動予算審議会	四名	稲植神社
二七日	「第二五回鎮守の杜フェスタ」参加 教化委員会「神社探訪」	八名	賀茂御祖神社・賀茂別雷神社

年月日	内容	人数	場所
七月 一日	監査会開催	三名	大將軍八神社
三日	全国氏子青年連絡協議会京都大会	一〇名	ホテルグランヴィア京都
五日	令和四年度定例総会資料準備作業	一〇名	八坂神社
六日	令和四年度定例総会直前役員会開催	一七名	京都東急ホテル
六日	令和四年度定例総会開催	六一名	京都東急ホテル
八日	神道青年近畿地区連絡協議会 世界平和祈願祭 奉仕・参列	六名	権原神宮
二二日	教化委員会 第一回委員会開催	七名	北野天満宮
一九日	親睦委員会 第一回委員会開催	五名	ほなっ 伏見桃山店
二〇日	渉外委員会 第一回委員会開催	一一名	FAX開催
二五日	事業委員会 第一回委員会開催	五名	WEB会議
二六日	神道青年近畿地区連絡協議会第一回役員会	三名	WEB会議
二二日	事業委員会 七五三ボスター写真撮影	六名	スタジオクレアール
二二日	第一回執行部会開催	一〇名	WEB開催
二二日	第一回役員会開催	一〇名	WEB開催
二二日	第十一回創立七十周年記念事業実行委員会開催	一〇名	WEB開催
一〇日	組織委員会 第一回委員会開催	二二名	FAX開催
八日	創立七十周年記念事業「創立記念練成会」開催	九名	御嶽山木曾本宮
二三日	神道青年近畿地区連絡協議会「勉強会」出席	六名	ホテル日航奈良
二五日	広報委員会 広報誌「山紫水明」 第一四二号送付作業	五名	八坂神社
三〇日	神道青年全国協議会	四名	神社本庁
三〇日	「令和四年度 夏期セミナー」出席	一〇名	FAX開催
二二日	親睦委員会 第二回委員会開催	三名	WEB会議
二二日	神道青年全国協議会	五名	WEB会議
五日	第一回連絡会出席	八名	八坂神社
五日	第一回執行部会開催	八名	八坂神社

令和四年度 京都府神道青年会活動報告書  
 自 令和四年七月一日  
 至 令和五年六月三十日

年月日	内容	人数	場所
九月 二二日	兵庫県神道青年会再建五周年記念式典出席	六名	湊川神社
二二日	事業委員会 七五三ボスター発行及び送付作業	一〇名	伏見稲荷大社
二二日	京都府神社庁主催 「第五一回交通慰霊祭」助勢	七名	京都西陣織会館
十月 三日	京都府神社庁 神宮大藤原旗布始奉生祭祭典 ・雅楽奉仕・参列	三名	京都府神社庁神殿
一〇日	教化委員会 第二回委員会開催	七名	ヤキニク甲
一七日	第二回役員会開催	一三名	八坂神社
一七日	第十二回創立七十周年記念事業実行委員会開催	一三名	八坂神社
二二日	神道青年近畿地区連絡協議会 第二六回全国戦歿学徒追悼祭奉仕	一名	若人の広場公園
二七日	神道青年全国協議会「沖繩本土復帰五十年 記念事業沖繩戦全戦歿者慰霊祭」奉仕	一名	沖繩県護国神社
九日	教化委員会主催「七五三の集い」開催 事業委員会 令和四年カレンダー発行及び送付作業	七名	伏見稲荷大社
九日	令和四年度カレンダー発行及び送付作業	一五名	城南宮
一六日	並びに時局講演会参加	八名	石清水八幡宮
一七日	神道青年全国協議会 臨時総会 並びに時局講演会参加	一名	リーガロイヤルホテル京都
二二日	親睦委員会 第三回委員会開催 (※北川神青協総会副議長)	一名	神社本庁
二九日	第三回役員会開催	三名	ごきげんえびす
二九日	第十三回創立七十周年記念事業実行委員会開催	一六名	大將軍八神社
二九日	次期会長・監事推薦委員会開催	一六名	大將軍八神社
二九日	神道青年近畿地区連絡協議会臨時総会 並第二回連絡会出席	八名	帝國ホテル大阪
二二日	第四回役員会開催	一四名	昆明
二二日	第四回執行部会開催	九名	八坂神社
二九日	第五回役員会開催	一〇名	石清水八幡宮
三〇日	京都府神社庁「令和五年新年神職総会及び 助成金交付式」出席 広報委員会 広報誌「山紫水明」 第一四四号発行	一名	京都府神社庁



# 委員会報告

## 組織委員会

### 機関紙『洛声』発行

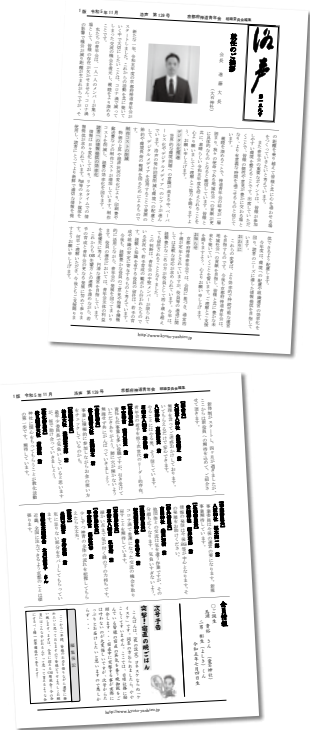
当会組織委員会では会員の近況を報告する機関紙『洛声』を発行いたしました。

この機関紙『洛声』は年四回の発行を行っており、五月に第二三三九号・第一三三六号を、六月に第一三七七号・第一三八八号を、十一月には第一三九号を発行しております。

本紙を通じて会員同士の情報共有、また親睦や連携を図りながら組織力をより強固なものにしていきたいと考えております。

これからも、会員皆様の近況を掲載していきたいですので引き続き情報収集のご協力をこの場をお借りしてお願い申し上げます。

(松尾大社 進藤 恵太郎)



## 教化委員会

### 神社探訪



今年の京都の六月。この時期の気温は例年よりも二度以上高い中、教化委員会主催により賀茂御祖神社から、賀茂別雷神社まで葵祭のルートを通っていくという例年とは異なる形式での神社探訪を企画しました。

参加申し込みも数名集まっただけのもの、直前に新型コロナウイルスに感染され全員キャンセルとの申し出があり、残念ながら一般参加はありませんでしたが、当日は会員七名で予定通り実施となりました。

賀茂御祖神社では田中会員より葵祭の歴史や変遷の説明を受けながら鴨社資料館秀穂舎を拝観しました。巡行する道筋や祭祀も形態も、年数を重ねる毎に試行を巡らせていることを知り、先人達の熱い想いを間近に感じることが出来ました。資料館を後にして、御本殿へと向かい御神前にて参拝することとなりました。

参拝を済ませ、次の賀茂別雷神社へと向かう際に、田中会員より葵祭の巡行ルートを通つてもらおうと運転手に提案し、



賀茂別雷神社へと向かいました。巡行ルートの景色を車の中から眺めながら、想像よりも長い距離を歩いているのだなど小学生じみた感想を抱いてしまいました。

賀茂別雷神社では米山会員から神社の御由緒や賀茂



社ならではの祭式作法等についてご説明を受け、御本殿を参拝。特に夏越の祓の祭式作法や、本殿側にある高倉殿での特別展示について、新しい発見があつて興味深く話を聞いていました。

参加した会員は、両会員のお話を受け葵祭の知識だけでなく、話し手として如何に参拝者に伝えていくかということについても考えを深めることができ、充実したひとときとなりました。私自身は社務中にご参拝の方に御由緒等の説明をすることはあまり経験がありませんが、ここでの経験を活かし研鑽していけたらと切に感じました。

(吉田神社 榎本 恭孝)

## 教化委員会

### 鎮守の杜お祭り体験

去る八月二十四日(木)「鎮守の杜お祭り体験」が私の奉職している松尾大社の境内に於いて開催されました。



お見えになり、約七十名の方が集まって下さいました。

進藤会長より開会の挨拶が述べられ昇殿参拝へ向かいました。子どもたちは廣教化委員長から手水の作法を教えてもらいながら手や口元を漱ぎ、続いて参加者の大人や年長者に倣つてお祓いを受け、御神前に少し緊張した顔をしつつ二礼二拍手一礼で参拝しました。

その後のレクリエーションでは、境内に於いて舗設したテントの下でスパーボールすくいやヨーヨー風船釣り、また室内では、射的や輪投げを体験して頂きました。

バルーンアートの披露では次々とかたちを変えるバルーンに「何ができるのだろう」と真剣な眼差しを向け、見覚え





のある形になってくると歓声が上がリ、笑顔があふれていました。縁日の雰囲気に触れながら、改めてお祭りや当事業の重要性を感じた良い一日となりました。

最後にご協力いただきました関係各位に心より御礼申し上げます。

(松尾大社 山本 晃大)



員のお子様四名にモデルを務めていただき、かわいらしいお姿の撮影が行われました。

尚、作成されたポスターは、京都府下各神社等に頒布をさせていただきます。

ご協力を頂きました皆様、ありがとうございました。

(北野天満宮 堀川 雄夫)



**事業委員会**

**七五三ポスター**

当会事業委員会では、毎年恒例の七五三ポスターを、ブライダルハウス・オエ様、タカミブライダル(高見株式会社)様、キョウカネウエディング(株式会社京鐘)様の御協賛、御協力のもと作成させて頂いております。本年はタカミブライダル様御担当の下、フォトスタジオ松本にて当会



**渉外委員会**

**御嶽教青年部との交流会**

令和五年六月二十三日(金)八坂神社に於いて渉外委員会主催「他団体交流会」が開催され、当会からは北川会長以下十三名が出席し、御嶽教青年部からは安井部長様以下九名の参加を得た。

初めに八坂神社を正式参拝し、東條事務局長より国宝に指定された御本殿、外陣周りをご案内頂き、普段見る事が出来ない裏側も拝観し参加者一同見入っていた。

次に常磐新殿に場所を移し八坂神社野村明義宮司様より祇園信仰や暦神祇園暦など八坂神社の様々な神事や取り組みについて一時間程ご講演を頂いた。特に八坂神社の本殿下に百五十メートル程の井戸があったのは驚きであった。

続く懇親会は御嶽教北川茂廣管長様(当会元副会長)からご提供頂いた日本酒で同氏の発声による乾杯で始まり、自己紹介を二分以内でアナウンスがあったが手短に終わる人もいれば三分ぐらい喋る人と様々であった。

結びに御嶽教青年部安井連樹部長様より各社の隆昌と会員益々のご健勝を祈念され散会となったが場所は祇園：各々更に懇親を深めるべく夜の街に消えて行った。

(賀茂別雷神社 山名 智之)

**渉外委員会**

**チャリティバザーの収益金を京都府へ寄付**

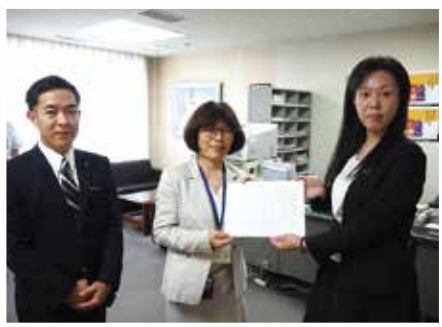
令和五年七月六日北川会長と林渉外委員長の両名が京都府庁舎内京都府文化生活部安心・安全まちづくり推進課を訪問し、当会渉外事業の一環として五月に北野天満宮において開催されたチャリティバザーの収益金三十万円を寄付した。

京都府文化生活部長様から感謝状を頂戴し、懇談では府下の交通事故等の推移などを説明いただいた。コロナ禍も和らぎ人々の往来が増えたためか、事故発生の件数は昨年と比べ増加傾向にあるという。引き続き府民の皆様が安心・安全に生活できるよう交通安全運動の推進のため、有効に活用させていただきたいと感謝の辞を頂戴した。

また林秀明渉外委員長からは「我々青年会の若い力をこの事業に注ぎ、府下の社会福祉や交通安全推進の一助になれるよう継続していきたい」と力強い言葉が聞かれた。

会員の皆様には、当会渉外事業の趣旨をご理解いただき、チャリティバザー、ヤチマタ募金活動へ積極的にご参加いただきたい。

(貴船神社 櫻井 孝嘉)





令和五年九月二十二日、北区は上賀茂M.K.ボウル四階の上賀茂パルク  
フットサルコートにて、親睦委員会主催「親睦フットサル大会」が会員中心  
に男女二十名参加のもと開催された。

山名親睦委員長から開会の辞が述べられ、始まった今回のフットサル大  
会は、参加者を三チームに分けてのチーム対抗総当たり戦で勝敗を競い  
合った。

準備運動に少し時間を割いたとはいえ序盤は皆動きが硬くパス回しも  
ぎこちないようだったが徐々に体も温まってきた頃には球際の競り合い  
や、パスがつながってからのシュートまでの素早い展開も繰り広げられるなど、  
チームメイト同士の連携が噛み合ったプレイも見え始めた。

どのチームとも拮抗した試合展開で勝敗も僅差であったが、特にそこに  
執着せず、久々のチーム競技を楽しんでいるようだった。

束の間の大会であったが、怪我等無く和やかな雰囲気で見終える事が出来  
普段余りお話しする機会のない先輩方や後輩とも言葉を交わし、当事業  
の趣旨である親睦を図る良い機会となった。

私自身は奉職してからというもののコロナ禍の影響もあり大人数で集まっ  
てスポーツに勤しむ時間が減っていた為、参加出来たことで大変有意義な  
ひとときを過ごせた。



去る令和五年六月五日、梅田のホテル阪急インターナショナルに於いて  
神道青年近畿地区連絡協議会「定例総会並びに研修会」が催され、研修会  
では「大阪の笑い」と文化芸人から学ぶ生き様」を演題に漫才作家・よ  
しもとNSC講師の本多正識先生をお招きしご講演いただいた。

しゃべりのプロと呼ばれる芸人さんを育成するよしもとNSC講師であ  
られる本多先生ならではの視点で、ご自身の人生経験から長い療養生活の  
中で漫才に出会い物事には全て意味があると解釈し、病気になられたこと  
をきっかけに、外の世界を知り今があるのだと芸人さんとのエピソードを  
交えながら肯定的な思考に変換して日々を過ごすことが大切だと仰った。

その中で人との付き合いも相手への見る角度を変えて、少し退いて俯瞰  
的に視ることで相手の良い所であったり、  
違う所が見えてきて、それが大喜利にも  
繋がっていくことがあると仰り、日頃の  
自分自身の行いを見つめ直すことが出  
来た。仕事に対する臨み方として先ず相  
手のことを思いやり気遣いが出来ること  
でより良い仕事(漫才)が出来ると仰り、  
全ての物事に対して全力で臨む大切さ  
を教わった。演題である笑い文化につ  
いて先生は大阪特有のユーモアな気質  
を分かり易くお話いただき、漫才を取



てしまい消えた存在になってしまふ。止まってしまうことで成長・進化をす  
ることができないので、楽しい上昇志向の考えをもって今よりも更によい  
自分を目指すことが大切であると日々社務に励む我々青年神職に向けて  
温かいエールを送ってください、大変意  
義深い研修会となった。

その後、定例総会では当番府県であ  
る大阪府神道青年会西川直樹会長より、  
「この一年間、食と笑いをテーマに研修会  
を開催させていただいた。青年会活動が  
より一層活発になっていくことを願って  
います」と挨拶の後、御来賓である大阪  
府神社庁長藤江正謹様、神道青年全国  
協議会会長大鳥居良人様よりそれぞれ  
御祝辞を頂戴した。次に議事に移り、

り巻く歴史的な背景や当時の実情と生  
活を考察された上で、一番大事にすべき  
ことは日頃の挨拶でありどんな有名な  
芸人さんであっても謙虚な姿勢やひた  
むきに仕事に取り組むことであるとい  
うことを我々がよく知る芸人さん達の  
先生とのエピソードの中から伺い知るこ  
とが出来た。

最後に芸人さんの世界に限ったこと  
ではないが、上には上がいるという考え  
を忘れてしまうと気持ちや天狗になっ  
てしまふ。止まってしまうことで成長・進化をす  
ることができないので、楽しい上昇志向の考えをもって今よりも更によい  
自分を目指すことが大切であると日々社務に励む我々青年神職に向けて  
温かいエールを送ってください、大変意  
義深い研修会となった。

### 近畿地区報告

#### 令和五年度定例総会並びに研修会

去る令和五年六月五日、梅田のホテル阪急インターナショナルに於いて  
神道青年近畿地区連絡協議会「定例総会並びに研修会」が催され、研修会  
では「大阪の笑い」と文化芸人から学ぶ生き様」を演題に漫才作家・よ  
しもとNSC講師の本多正識先生をお招きしご講演いただいた。

しゃべりのプロと呼ばれる芸人さんを育成するよしもとNSC講師であ  
られる本多先生ならではの視点で、ご自身の人生経験から長い療養生活の  
中で漫才に出会い物事には全て意味があると解釈し、病気になられたこと  
をきっかけに、外の世界を知り今があるのだと芸人さんとのエピソードを  
交えながら肯定的な思考に変換して日々を過ごすことが大切だと仰った。

その中で人との付き合いも相手への見る角度を変えて、少し退いて俯瞰  
的に視ることで相手の良い所であったり、  
違う所が見えてきて、それが大喜利にも  
繋がっていくことがあると仰り、日頃の  
自分自身の行いを見つめ直すことが出  
来た。仕事に対する臨み方として先ず相  
手のことを思いやり気遣いが出来ること  
でより良い仕事(漫才)が出来ると仰り、  
全ての物事に対して全力で臨む大切さ  
を教わった。演題である笑い文化につ  
いて先生は大阪特有のユーモアな気質  
を分かり易くお話いただき、漫才を取

り巻く歴史的な背景や当時の実情と生  
活を考察された上で、一番大事にすべき  
ことは日頃の挨拶でありどんな有名な  
芸人さんであっても謙虚な姿勢やひた  
むきに仕事に取り組むことであるとい  
うことを我々がよく知る芸人さん達の  
先生とのエピソードの中から伺い知るこ  
とが出来た。

最後に芸人さんの世界に限ったこと  
ではないが、上には上がいるという考え  
を忘れてしまうと気持ちや天狗になっ  
てしまふ。止まってしまうことで成長・進化をす  
ることができないので、楽しい上昇志向の考えをもって今よりも更によい  
自分を目指すことが大切であると日々社務に励む我々青年神職に向けて  
温かいエールを送ってください、大変意  
義深い研修会となった。

### 親睦委員会

#### 親睦フットサル大会

令和五年九月二十二日、北区は上賀茂M.K.ボウル四階の上賀茂パルク  
フットサルコートにて、親睦委員会主催「親睦フットサル大会」が会員中心  
に男女二十名参加のもと開催された。

山名親睦委員長から開会の辞が述べられ、始まった今回のフットサル大  
会は、参加者を三チームに分けてのチーム対抗総当たり戦で勝敗を競い  
合った。

準備運動に少し時間を割いたとはいえ序盤は皆動きが硬くパス回しも  
ぎこちないようだったが徐々に体も温まってきた頃には球際の競り合い  
や、パスがつながってからのシュートまでの素早い展開も繰り広げられるなど、  
チームメイト同士の連携が噛み合ったプレイも見え始めた。

どのチームとも拮抗した試合展開で勝敗も僅差であったが、特にそこに  
執着せず、久々のチーム競技を楽しんでいるようだった。

束の間の大会であったが、怪我等無く和やかな雰囲気で見終える事が出来  
普段余りお話しする機会のない先輩方や後輩とも言葉を交わし、当事業  
の趣旨である親睦を図る良い機会となった。

私自身は奉職してからというもののコロナ禍の影響もあり大人数で集まっ  
てスポーツに勤しむ時間が減っていた為、参加出来たことで大変有意義な  
ひとときを過ごせた。

(貴船神社 稲川 昌孝)





大阪府神道青年会会長西川直樹会長が議長を務められ、次期会長に滋賀県神道青年会から多賀大社の野上浩司くんを始め、京都府神道青年会から御嶽教末廣教会の北川真喜子さん、兵庫県神道青年会より西宮神社の吉井良迪くん二名が副会長に選出され、役員改正の件、異議なく承認された。上程された他の議案についても異議なく承認され閉会となり、野上新会長の下、新しい役員での二年間が始まった。

(祝園神社 宮城 登志夫)

### 近畿地区野球(ボウリング)大会

令和五年六月六日、神道青年近畿地区連絡協議会親睦野球大会が、大阪府当番の元浜寺公園軟式野球場で行われる。予定であったが、当日は生憎の雨予報を受けて、ラウンドワンスタジアム堺駅前店にてボウリング大会に変更となった。



大会当日、大阪府神道青年会会長を務める津嶋部神社、西川直樹様の司会進行の下、大会はスムーズに進んだ。本大会は二ゲームを行い、アベレージを競い合うルール。ボウリング終了後は、会場を大鳥大社参集殿に移し大鳥大社水無瀬忠俊宮司様よりご挨拶を頂いた後、懇親会が開催され、皆が待ちかねた結果発表が行われた。京都府は健闘したが惜しくも二位。優勝は二年連続奈良県神道青年会に渡す結果となった。

来年は野球大会が開催される事を祈りつつ、悲願の京都府優勝を目指して頑張っていきたいと思う。

ボウリング大会順位

- 一位 奈良県
- 二位 京都府
- 三位 大阪府
- 四位 滋賀県
- 五位 兵庫県
- 六位 和歌山県

(松尾大社 阿部 昂司)

### 禊魂錬成研修会

去る七月十二日、十三日、神道青年近畿地区連絡協議会の事業である「禊・鎮魂錬成研修会」が奈良県神道青年会主催の下、奈良県天理市の石上神宮にて開催された。



本研修会には近畿各府県の神道青年会より十七名の会員が参加し、当会からは三名が参加した。一日目、研修会の開催にあたり拜殿にて正式参拝、開講式が行われた。その後、石上神宮の道上昌幸先生に禊・鎮魂行法を

ご指導頂き、禊場にて禊法を、拜殿においては鎮魂行法を、それぞれ二日夕刻と十三日早朝に習い修めた。

二日目の勉強会では税理士の松尾潤先生にご登壇頂き「税理士から見た中小企業の挑戦」をテーマに、普段神社の中からは見えてこない、税理士の先生ならではの見方から、世の中の経済についてご講演賜った。

今回四年ぶりに二日間亘つての開催ということもあり、延べ十七名と比較的少数での参加ではあったが意欲的に望むことが出来た。禊法は勿論のことながら、石上神宮で代々受け継がれてきた鎮魂行法、布瑠部の神業を石上神宮の拝殿で体感出来たことは何にも代え難い経験となった。日頃奉仕する中でつい忘れがちな神道の「宗教」としての強い側面を肌で感じ、思い出すことが出来た。ご指導頂いた話の中にもあったが、神社、ひいては神道においても特に重要である近畿の神社で奉職をしているという誇りを忘れず、日々努めていきたい。

結びに、この場をお借り致しまして本研修会開催にあたり、石上神宮様をはじめとしてご尽力を頂きました奈良県神道青年会の皆様には心より厚く御礼申し上げます。

(伏見稲荷大社 廣 達哉)

### 神宮・奈良との親善試合(野球部)

令和五年七月十八日、大仏山公園野球場に於いて、神宮・奈良との親善野球大会が行われた。この日の最高気温三七・三度。四十度に迫る危険な暑さの為、約一時間三回裏までを目安に総当たり戦で試合が行われた。インニングが短くなったとはいえ、熱中症と怪我には十分注意したい



リード。酷暑のせいかコントロールが定まらずファールボールでランナーを許すと、味方のエラーが重なり逆転負け。神宮に敗北を喫してしまう。悔しい思いとリベンジしたい思いとで、更に闘志を燃やし奈良戦に臨む。

京都・奈良両チームともにあとがない最終戦。奈良の攻撃から始まり、京都は守備からリズムを作り攻撃に繋ぎたいところ。立ち上がり一番バッターを三振で抑えると、ストリートとカーブの球種を使い分け、外角中心の配球で打たせて取るピッチングで、二回と奈良打線を無失点で打ち取る。また野手の好プレーでピッチャーを助け、試合の流れは完全に京都に傾いた。守備で主導権を握り、打撃でも「後ろに繋ぐ」という思いで上位打線下位打線ともに快打を量産し、一回から三







**皇室関連施設清掃奉仕**

恒例の神道青年近畿地区連絡協議会、皇室関連施設清掃奉仕が令和五年十月五日京都御所にて開催された。本年の清掃奉仕は、コロナ禍以降初めて通常通り各単位会より参加者を募った上での開催となった。

残暑の厳しさは例年にも増して九月下旬まで続いていたが、十月に日程が入り込んだ清掃奉仕の当日はうっかつかわって肌寒い朝であった。強い雨の心配は無いものの曇天のなか、予定通りの実施となった。

清掃場所は非公開となっており詳細は控えるが、御殿の裏手となるような場所や海外からの要人の駐車場所としても利用されるという。裏手であるので雑草も少し伸び、落ち葉も積もっていたが、もの言わぬ庭のような情景であった。各々熊手を手にとると、慣れた手付きで手際よく作業を進めていく。人員も多く、進行は担当技官の想定を超えていたようで、準備された区画は次々と完了していった。

控室では宮内庁京都事務所の足立次長



様より謝辞を賜り、コロナ禍を終えて一般拝観を再開した京都御所の現状をご説明頂いた。

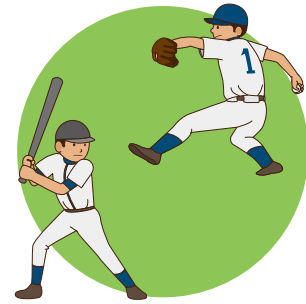
午後からは庭園部による京都御所内を案内いただき、非公開場所のみならず一般公開の紫宸殿も技官による丁寧な説明と、各自の質問にも親切にお答えいただき非常に実りある拝観となった。

京都御所での行程は想定よりも早く午後三時には終了した。当日の冷涼な気候により入浴は不要、代わりに京都観光に繰り出す者多数となり、それぞれは懇親会までの時間を有意義に過ごしたようであった。

午後五時「ピアサーティ京都」に再び集合し懇親会が開催された。会員同士の親睦、また氏子青年連合会会員との親睦も深められ、終始和やかな雰囲気の中、盛会の内に散会となった。

結びに、清掃奉仕の受け入れ、また準備や当日の対応を快く引き受けて下さった宮内庁京都事務所関係各位には篤く御礼申し上げます。

(吉田神社 森川 知樹)



回までで五取を取る結果となった。最終回の回守り切れれば勝利をつかむことが出来るが、奈良打線も黙ってはいない。ノーアウト、ランナーを許すと次のバッターに甘く入ったストリートを打たれ、レフトを優に超える特大ホームランを打たれてしまう。二点を取られ徐々に差を詰めてきたが、その後焦らず一つ一つアウトをとり、五対二で京都が見事に勝利を飾った。

京都は準優勝で、京都・奈良・神宮親善野球大会の幕を閉じた。酷暑の中で開催された今大会だったが、どのチームも暑さに負けない闘志溢れるチームばかりだった。

(城南宮 加藤 秀紀)

**第一回連絡会並びに研修会報告**

令和五年九月四日、西宮神社会館に於いて令和五年度第一回連絡会並びに研修会が開催された。



連絡会では神道青年近畿地区連絡協議会野上浩司会長、当番府県である澤田政彰兵庫県神道青年会会長の両名による挨拶に始まり、ご来賓の兵庫県神道青年会旺美会代表幹事花木克己様、神道青年近畿地区連絡協議会参与岸田清義様より御祝辞を頂いた。その後、中央報告・神青協事業委員会・神青協神宮啓発委員会、神青協周年委員会、近畿地区事業委員会、各単位会其々の活動報告がなされた。

研修会では、「防災」がテーマと今年度当番である兵庫県から聞いていた通り、神戸市都市局の小塚満幹先生より「防災対策の必要性」阪神淡路大震災を経て改めて思うことについてご講演頂いた。阪神淡路大震災以降、神戸市は震災の経験を生かし、「自助七割」「共助二割」「公助一割」を教訓に掲げ、数々の取り組みを行ってきたと説明された。防災施設の築造はもとより、市民が自助共助できる環境整備こそが公的機関として一番の課題であり、そこそが神戸市が震災後最も力を入れてこられたことであると感した。

又、今回は連絡会に先立って西宮神社御本殿にて正式参拝をさせて頂き、吉井良英権宮司様より御高話を拝聴した。

懇親会では吉井権宮司様の乾杯のご挨拶に始まり、近畿二





中央報告

夏期セミナー報告



本社本庁に於いて令和五年八月二十二・二十三日の二日間に渡り、「令和五年度神道青年全国協議会夏期セミナー」が開催された。

今回の研修テーマとして、「不易流行くしなやかなる変化、恐れずに前へ」という主題のもと、三名の講師から様々な視点で講話をいただいた。

第一講では「全国一万人社を巡った僕が感じた神社の未来」と題して、メディアでも神社ソムリエとして活躍中の佐々木優太先生にご講演を賜った。

参拝者と神社、神主との距離感やギャップ、認識の違いについて、一般人は神社をサービス業だと思っている。認識が違う人達にどれだけ広報活動をしても差は埋まらない、神社に人が来ることでなく、町が発展することを考えることが重要だという具体的な指摘を頂戴した。

第二講では「国内・訪日旅行者にとつての神社とは」と題して、訪日外国人ガイドの齊田友紀先生にご登壇いただいた。外国人観光客側から見た神社の印象や何を期待して来訪しているのか、という話を数字やデータを

元に解説していただいた。

海外の方と一括りにするのではなく国ごとに目的や興味を持つものが違うという事を意識して、神社とその地域が提供出来る強みを発掘することが重要となるだろう。

第三講では「ファーストペンギン」〜シンガルマザーと漁師たちが挑んだ船団丸の奇跡〜と題して福島県の漁港の復興に尽力された坪内知佳先生に、その体験談を語っていただいた。目的を達成するためには、どのように考え、どのように行動に移していけばいいのか、「こうなりたい」という想いを明確化し、周囲を豊かに導く指導力を我々青年神職も兼ね備え、見習わなければならない。



今回の夏期セミナーを通して、我々青年神職としてこれまでの伝統を護持しながらも、変化を恐れることなく、何が出来るかを見極め実践していかなければならないと感じた。

（豊國神社 吉田 武洋）



令和三・四年度神道青年全国協議会

神宮啓発委員活動報告

神宮写真展について

従来の本事業は、地区単位の依頼を受けて写真パネルを貸し出す、という受動的なものであった。しかし、コロナ禍において各地区単位の活動運営が困難であることに鑑み、神青協としても本格的な地区単位の活動の再開に向けて一助となるべく、令和四年度においては全国地区単位の神宮啓発委員会の共同開催で写真展を開催した。私は福井県及び岡山県で開催された同事業に神宮啓発委員として参加した。

福井県では、福井市内のショッピングモールの一角をお借りし、十月二十七日よりの三日間で約八百名の来場があった。岡山県では、十二月七、八日の二日間岡山市内の能楽堂ホールを借り、写真展に併せて特別な御朱印帳づくり、装束着付け体験、雅楽演奏なども実施、約五百名が来場した。

本事業を通して、広く一般の方に神宮の魅力を知っていただくことができたように思う。とりわけ、若年層の方でも、「神宮に興味があった」、「家族でお参りしたい」といった感想を述べてくださった方が少なからずいらっしゃった点が印象的であった。

今後の神宮啓発委員会においても本事業が継続され、より良いものになつていくことを願っている。

（吉田神社 岸本 賢彦）



# 新入会員紹介

・氏名 ①生年月日 ②出身地 ③奉職先  
④もし神職じゃなかったら？

かめやま いおり  
亀山 伊織



- ①平成12年5月3日
- ②石川県
- ③賀茂御祖神社
- ④歴史学者

のむら わかな  
野村 和奏



- ①平成11年11月15日
- ②京都府
- ③賀茂御祖神社
- ④ツアーコンダクター

うえき みほ  
植木 美帆



- ①平成12年8月15日
- ②静岡県
- ③賀茂御祖神社
- ④イラストレーター

ながさわ すみれ  
長澤 堇



- ①平成12年12月28日
- ②兵庫県
- ③賀茂御祖神社
- ④警察官

たなか まさのり  
田中 雅訓



- ①平成12年1月17日
- ②福井県
- ③北野天満宮
- ④宇宙飛行士

たかい りく  
高井 陸



- ①平成10年4月13日
- ②京都府
- ③北野天満宮
- ④プロ野球選手

かわかみ さだあき  
河上 定秋ニキータ



- ①平成12年10月26日
- ②福岡県
- ③貴船神社
- ④生物学者

おおさわ しゅうき  
大澤 承起



- ①平成11年12月 14日
- ②千葉県
- ③護王神社
- ④学芸員、図書館 司書

いし いちか  
石井 千佳



- ①平成15年2月13日
- ②京都府
- ③金刀比羅神社
- ④心理カウンセラー

ともだ のりつぐ  
友田 啓嗣



- ①平成7年12月29日
- ②大阪府
- ③伏見稲荷大社
- ④プログラマー

たかはら よしき  
高原 佳暉



- ①平成11年2月7日
- ②兵庫県
- ③伏見稲荷大社
- ④教師

のむら ゆうき  
野村 侑希



- ①平成11年8月11日
- ②埼玉県
- ③伏見稲荷大社
- ④公務員

たけうち まさたか  
竹内 政貴



- ①平成12年1月13日
- ②京都府
- ③松尾大社
- ④会社員になって みたいです

おざわ しゅんぺい  
小澤 俊平



- ①平成13年3月18日
- ②埼玉県
- ③伏見稲荷大社
- ④嘶家

みなせ ただふみ  
水無瀬 忠史



- ①平成9年2月24日
- ②大阪府
- ③平安神宮
- ④料理人

みやもと とよつぐ  
宮本 豊嗣



- ①平成13年3月3日
- ②東京都
- ③平安神宮
- ④特になし

しおぎ たかひろ  
塩崎 崇弘



- ①平成10年3月23日
- ②和歌山県
- ③松尾大社
- ④美容師、車関係

きのした かずま  
木下 和真



- ①平成12年5月16日
- ②京都府
- ③八坂神社
- ④野球選手or料理人になりたかった

たけやま まゆこ  
竹山 真由子



- ①平成6年12月7日
- ②京都府
- ③與杼神社
- ④